

連合「2018春季生活闘争 4.6共闘推進集会」アピール（案）

われわれは、本集会において、要求を掲げたすべての組合が、要求趣旨に沿った回答を引き出せるよう、全力を挙げることを確認した。

2018 春季生活闘争において、構成組織・各組合は、すべての働く者の賃金の「底上げ・底支え」「格差是正」の実現と「すべての労働者の立場にたった働き方の見直し」の実現をめざし、要求提出以降、懸命な取り組みを進めている。

4月4日時点の賃金引き上げの回答引き出し状況は、企業規模にかかわらず昨年同時期を上回っており、賃金引き上げの流れが力強く継続している。また、非正規労働者の賃金引き上げについても、時給・月給ともに昨年同時期を上回っており、底上げのすそ野が広がっている。

一方で、経営側の慎重かつ厳しい態度により交渉が難航している中小組合もある。われわれは、先行する組合の闘いの成果をすべての働く者の賃上げ・働き方の見直しに波及させるため、次のとおり中小組合の交渉を支援していく。

- 一、構成組織と地方連合会は連携し、要求未提出組合について、速やかに要求提出に向けた指導を行うとともに、未解決組合の交渉を支援し促進する。交渉において、「経済の自律的成長」に向けた労使の社会的責任を果たすためには、月例賃金の引き上げが不可欠であることや、企業・産業の存続と発展には「人への投資」が不可欠であることを主張し、要求趣旨に沿った回答引き出しに全力を挙げる。また、非正規労働者の処遇改善については、要求にこだわりを持ち正規労働者との同時決着をはかる。
- 一、5つの共闘連絡会議との連携のもと、地場の賃金水準や回答引き出し状況などの情報開示を積極的に進め、地場共闘の取り組みを強化する。
- 一、連合は中小企業労働者と非正規労働者の処遇の改善をめざし、「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の流れを継続・定着・前進させるべく取引の適正化の推進に向け、中小企業団体や中央省庁などとの協議・連携を強化する。

「底上げ春闘」はこれからが正念場である。連合、構成組織、地方連合会、組合は互いに連携を強め、月例賃金の引き上げをすべての働く者に波及させるために、最後までともに闘うことを確認する。

2018年4月6日

連合「2018春季生活闘争 4.6共闘推進集会」